

## K2/TCP サーバ用

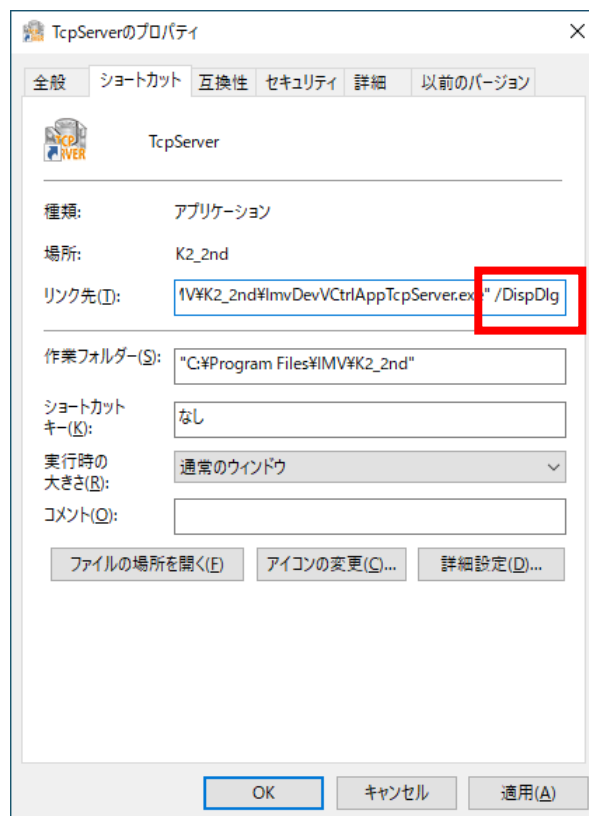
# サンプルクライアントソフトウェア簡易マニュアル

### (A) インストール

1. K2 ソフトウェアがインストールされた PC を準備します。
2. この PC の任意の場所で TCPclient\_Sample.zip を解凍します。
3. 「..\¥TCPclient¥Sample definitions¥TCPserver¥\*.」を「C:¥K2Data¥TCPserver¥\*.」にコピーします。
4. 必要に応じて、.Net Framework 4.5.1 と VC++2015 Runtime をインストールします。

### (B) 操作

1. K2/TCP サーバの開始前に、実行ファイル  
(../Program Files/IMV/K2\_2nd/ImvDevVCtrlAppTcpServer.exe)  
へのショートカットを作成して下記のように編集します。  
(TCP サーバがデバッグ用の画面を表示するために「 /DispDlg」を追加します)



2. K2/TCP サーバを起動します。
3. サンプルクライアントソフトウェアを実行します。

環境によって実行ファイルを選択してください。

VB2015 : 「..\¥TCPclient¥exe¥VB2015¥TcpClient.exe」

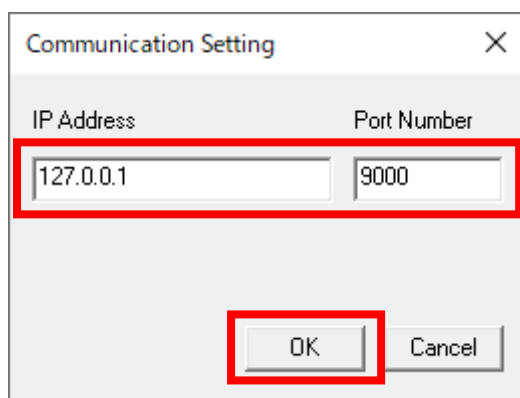
VC2015(x86) : 「..\¥TCPclient¥exe¥VC2015¥x86¥TcpClient.exe」

VC2015(x64) : 「..\¥TCPclient¥exe¥VC2015¥x64¥TcpClient.exe」

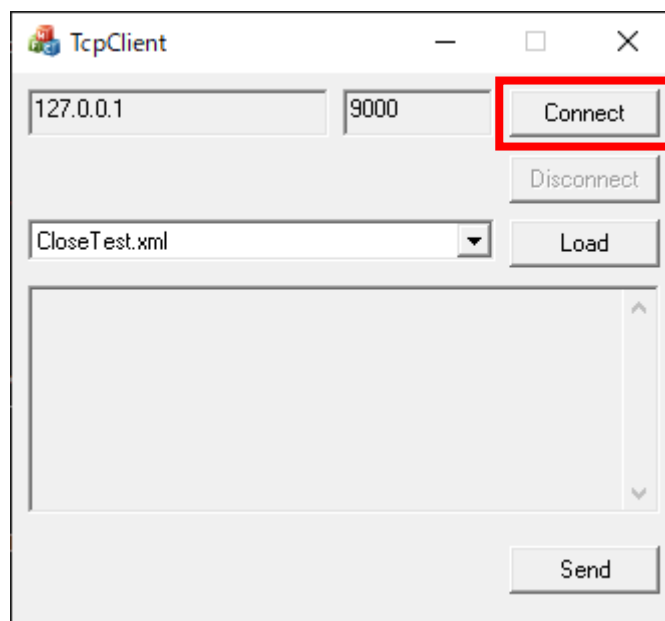
4. IP アドレスとポート番号を設定して、「OK」 ボタンを押します。

K2/TCP サーバとサンプルクライアントが同じ PC で稼働させる場合は、IP アドレスを「127.0.0.1」に設定してください。

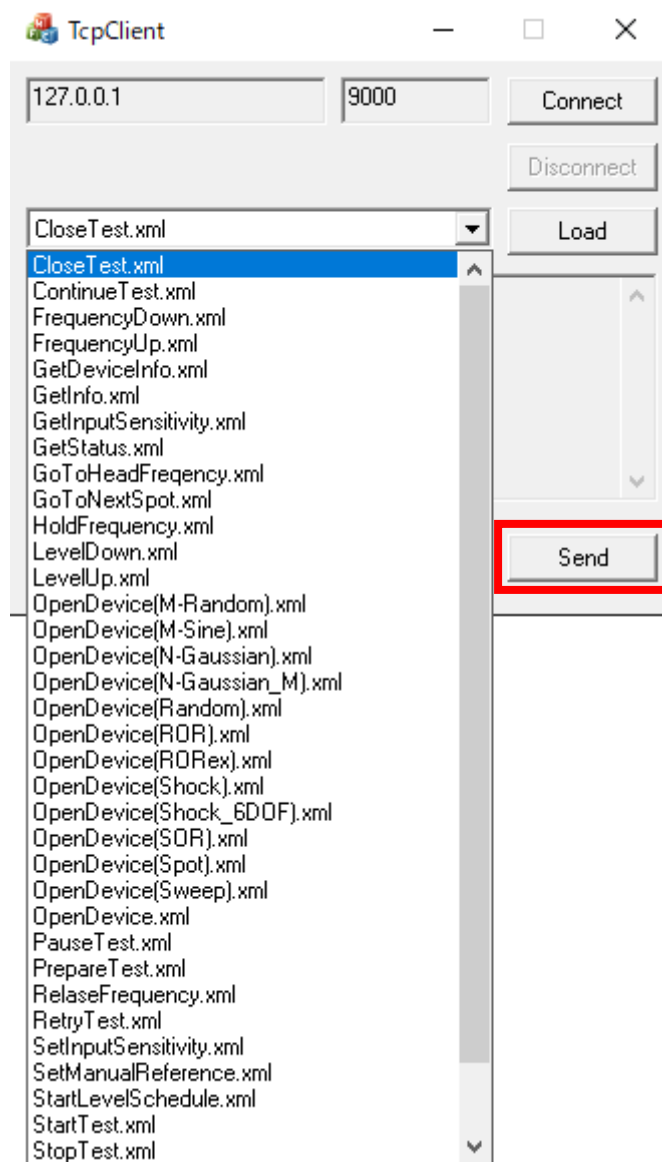
またポート番号は 9000 に設定してください。



5. 「Connect」 ボタンを押します。



6. コマンドを選択して「Send」ボタンを押します。  
コマンドの詳細については K2/TCP サーバの取り扱い説明書を参照してください。



(C) ソースコード

サンプルクライアントのソースファイルは下記にあります。

VB2015 : 「.¥TcpClient¥Source¥VB2015」

VC2015 : 「.¥TcpClient¥Source¥VC2015」

以上